

東北地区 平成一二年産粗飼料の成分値傾向

当農場では、平成四年から北海道以外の府県からの粗飼料の分析も行っております。

そこで、今回は、まだデータには不足しておりますが、速報として、昨年七々今年一月までに当農場に分析依頼があった東北地区(主に青森県・岩手県・宮城県)のサンプルを中心に成分値をまとめましたのでご紹介致します。

東北地区の平均値を表1に、過去二年間の乾草、ロールパックサイレイジの各一番草とトウモロコシサイレイジの成分値を比較したグラフを図1〜3に示しました。尚、表1には、参考として北海道の成分平均値を載せております。

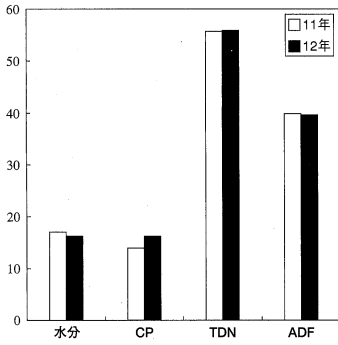


図1 乾草1番

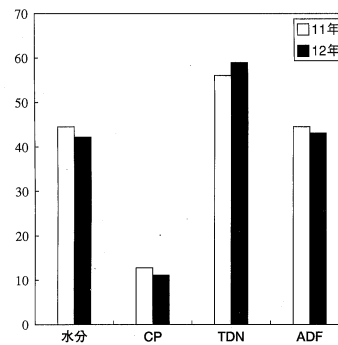


図2 ロールパックサイレイジ1番

一、水分

乾草、トウモロコシサイレイジにつきましては、昨年と比較して同等か低くなる傾向にあり、特にロールパックサイレイジでは、二%以上低い値となっております。

二、粗たんばく質 (CP)

乾草については、前年と比較して二%程度高くなっております。ロールパックサイレイジとトウモロコシサイレイジについては、若干ですが、低くなる傾向にあります。

三、TDN

乾草とトウモロコシサイレイジ

表1 東北地区平均値

	検体数	pH	水分	粗たんばく	TDN	ADF	Ca	P	Mg	K	
乾草1番	東北平均	25	15.56	15.66	55.26	40.10	0.34	0.31	0.24	2.03	
	全道平均	179		14.53	9.51	51.82	40.67	0.30	0.25	0.19	2.19
ロールパックサイレイジ1番	東北平均	50	5.03	41.68	11.56	58.36	42.38	0.39	0.31	0.23	2.44
	全道平均	197	5.04	40.85	11.03	55.39	37.39	0.35	0.25	0.19	2.22
トウモロコシサイレイジ	東北平均	84	4.09	69.90	10.41	65.28	28.75	0.24	0.27	0.17	1.54
	全道平均	171	4.16	70.45	8.95	66.13	30.33	0.26	0.25	0.18	1.66

※水分以外乾物中%

では、昨年と比較して同程度の値となっております。ロールパックサイレイジについては、一%高い値となっております。

四、ADF

乾草とトウモロコシサイレイジでは、昨年と比較して同程度の値となっております。ロールパックサイレイジについては、一%高い値となっております。

まとめ

東北地区からの牧草

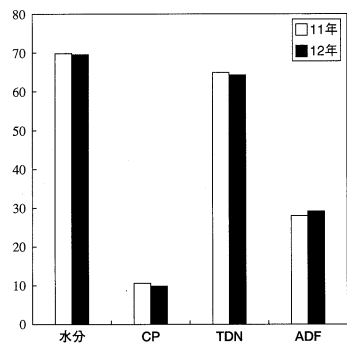


図3 トウモロコシサイレイジ

サンプルは、草種としてはオーチャードグラスが主体になっていることから、チモシー主体の北海道の牧草と比較すると、粗たんばく質が高くなる傾向にあります。反面、オーチャードグラスは生育が早いいため、特に昨年、一昨年のように気温が高い年は、地域によっては、生育ステージが進み過ぎ、ADFなどの消化しにくい繊維が、高くなる傾向にありますので、飼料設計を行う場合には栄養のバランスに注意して下さい。(北研 田中)

雪印種苗株式会社

編集発行人 菊地 庸
本社 062-8850 札幌市豊平区美園二条一丁目
TEL(011)833-1116

東北事業部
024-0004 北上市村崎野
TEL(019)766-1111
FAX(019)766-1111

TEL(019)766-1111
FAX(019)766-1111